

第10回読書感想文コンクール

あなたの感想文が本になります！

募集要項

- 1 『おかしな二人』 ニール・サイモン
ふとしたことから、性格の対照的な男同士がアパートの同じ部屋に住み、様々な出来事を巻き起こす喜劇。映画化された傑作。
- 2 『帰ってきたヒトラー』 ティムール・ヴェルメシュ
ヒトラーが現代にタイムスリップしたらどうなるのか。ヒトラーの見る現代社会、現代人が見るヒトラーはどんなものなのか。
- 3 『カンディード』 ヴォルテール
純朴な青年カンディードが繰り広げる試練と苦難の冒険物語。ヴォルテールの哲学コトの代表作にして風刺文学の傑作。
- 4 『砂漠』 伊坂幸太郎
砂漠に雪を降らせる……、行動してみればそんな奇跡を起こすことさえできるかもしれない。若者と社会との接し方を問いかける一冊。
- 5 『悲の器』 高橋和巳
恋愛における情愛さえも法の論理で解釈する、一種メカニクな刑法学者正木典膳の直面した、あまりに人間臭いスキャンダル。
- 6 『深い河』 遠藤周作
生きる中で苦悩や空しさを抱え、インドへ向かった人々。それぞれがインドで見出だした「河」の姿が描かれている。
- 7 『貧しき人々』 ドストエフスキー
自分をさげすむと同時に誇り高さもあわせ持つ主人公。自己分裂と二重人格のテーマを極限まで探求し尽くしたロシアの文豪の第一作。
- 8 『メディア不信 —何が問われているのか』
林香里
新聞やテレビへの信頼が失われつつあるドイツ、イギリス、アメリカ、日本。その背景を探り、それぞれの社会の今後を考える。
- 9 『モラルの起源 —実験社会科学からの問い』
亀田達也
人間の道德性を、実験によって解き明かそうとした著作。人は意外に(?)利己的でないことが証明される。
- 10 『夢十夜』 夏目漱石
夏目漱石の見た少し不思議な十の夢には、何が意味されているのか。そして、今を生きる私たちは各話に何を想うのか。

● 応募資格 高校生および社会人

● 応募内容 課題図書から1冊を選び、1200字以内で読書感想文を書いてください。応募は未発表の原稿で、1人につき1点にかぎりです。

● 応募形式 応募用紙(表紙)は文学部ホームページよりダウンロードしてください。本文はA4サイズの400字詰原稿用紙3枚以内に「縦書き」で記入のうえ、郵送してください。応募作品は返却しません。いただいた個人情報、本賞選考以外には許可なく使用いたしません。応募用紙のダウンロードが出来ない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

● 優秀賞 100名(高校生部門、社会人部門あわせて)
賞状ならびに作品集の贈呈、副賞として図書カード3,000円分。
選考結果は、10月初旬、受賞者に郵送し、文学部ホームページに発表します。
優秀者全員の感想文は、作品集「読むことの歓び」として単行本になります。
作品集は受賞者ならびに各高等学校や図書館に寄贈します。
作品の著作権については明治大学に帰属することとします。

● 締切 2018年 8月 3日(金) 消印有効

● 表彰式 2018年11月17日(土) 於 明治大学駿河台キャンパス



コンクールウェブサイト



応募および問い合わせ先

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学読書感想文コンクール選考委員会
TEL:03-3296-4189 <http://www.meiji.ac.jp/bungaku/>